

編集後記

編集委員会での真剣な議論を経て、学会誌の企画記事ができあがっている。相当の手間をかけてできあがった作品を、より多くの会員の皆様に読んでいただきたいと思う。そのためには、会員に読みたいと思わせる企画内容、そして実際に読んだ後に一定の満足感（内容がよくわかった、企画の意図が伝わったなどのよい印象）を持っていただける作品が求められている。そのことを踏まえると、企画者である担当編集委員によって、一般会員（の最大公約数）が興味を持つ内容とよくマッチングする内容を想定することから始めなければならない。実際には、担当編集委員が一般会員の立場で読みたいと思う企画内容を提案するのが妥当だろう。そうすると、担当編集委員の専門とは一致しない内容になる場合も少なからず予想される。その上、企画者の意図に合致する作品を得るために、相応しい作者（執筆者や取りまとめ責任者）を選ばなければならない。そのため、

選ばれた作者によって企画がどのような作品に仕上がるのかを想定することが編集委員会の審議で求められる。

もうひとつ大事な観点は、プラズマ・核融合学会誌としてのオリジナリティーである。多彩で最新の品を扱う百貨店のごとくあることも読者を飽きさせないために必要だが、芯となるオリジナルなテーマがなければ他学会誌との差別化ができない。最近の学際的分野間連携の活動を反映して、学会誌のオリジナリティーにも発展がみられつつある。その中には、多分野へのプラズマ応用に限らず、基礎物理のレベルで異分野との共通問題を見出そうとするものもある。オリジナリティーの発展は、学会誌の読者層を広げる効果、及び会員を増やす効果を生むはずだ。

以上、本人のための編集心得の覚書のようなものになってしまった。

(加藤太治)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	松田慎三郎	副会長	佐藤浩之助	三間 罔興	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 (企画委員長)		板垣 正文		今井 剛 (広告委員長)	
	奥野 健二 (プログラム委員長)		尾崎 章		加藤 敬 (財務委員長)	
	佐野 史道		田中 和夫 (編集委員長)		寺井 隆幸	
	畠山 力三		畑山 明聖		浜口 智志 (出版委員長)	
	本島 修		森 雅博 (広報委員長)			
監 事	藤山 寛		松尾 慶一			

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 田中和夫 (阪大)

エディター 関子秀樹 (九大), 関 昌弘 (RIST), 田中雅慶 (九大), 福山 淳 (京大), 村上匡且 (阪大), 行村 建 (同志社大)

編集委員 石黒静児 (核融合研), 大矢恭久 (静大理), 越智義浩 (原子力機構), 加藤太治 (核融合研), 北島純男 (東北大院工), 北野勝久 (阪大院工), 小口治久 (産総研), 後藤基志 (核融合研), 佐伯紘一 (静大理), 酒井 道 (京大院工), 榊原 悟 (核融合研), 佐藤紘一 (京大原子炉研), 佐藤 聡 (原子力機構), 佐藤杉弥 (日本工業大工), 高山有道 (核融合研), 田中照也 (核融合研), 谷口和成 (京都教育大教育), 長崎百伸 (京大エネ研), 長友英夫 (阪大レーザー研), 浪平隆男 (熊大院自然), 野崎智洋 (東工大院理工), 畠山賢彦 (東北大金研), 花田和明 (九大応力研), 林 伸彦 (原子力機構), 平田孝道 (武蔵工大工), 平松美根男 (名城大理工), 吉川正志 (筑波大院数理), 吉田弘樹 (岐阜大工)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第83巻第9号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市中種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,365円(本体1,300円)

印刷 株式会社荒川印刷

2007年(平成19年)9月25日

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。